平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場会社名　SEホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9478　URL　http://www.sehi.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 速水　浩二
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　経営企画部部長　(氏名) 松村　真一　TEL 03-5362-3700

四半期報告書提出予定日　平成25年2月8日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,377	△3.4	181	△29.0	116	△32.3	△325	―
24年3月期第3四半期	5,567	△6.3	255	19.7	172	46.9	73	220.5

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　△365百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△110百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△20.47	―
24年3月期第3四半期	4.64	4.61

(注)　当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。このため1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,670	3,766	33.7
24年3月期	10,174	4,151	35.1

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　3,256百万円　24年3月期　3,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	200.00	200.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。平成24年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	2.2	100	△58.4	0	―	△409	―	△25.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	18,636,800 株	24年3月期	18,636,800 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,641,700 株	24年3月期	2,767,700 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	15,924,981 株	24年3月期3Q	15,869,100 株

(注) 当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割をおこなっております。このため1株当たり当期純利益は、当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

○添付資料の目次

１.当四半期決算に関する定性的情報 ……P. ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……P. ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……P. ２
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……P. ２
２.サマリー情報（その他）に関する事項 ……P. ３
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……P. ３
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……P. ３
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……P. ３
３.継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……P. ３
４.四半期連結財務諸表 ……P. ４
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. ４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. ６
（３）継続企業の前提に関する注記 ……P. ８
（４）セグメント情報等 ……P. ８
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……P. ９

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要の下支えがあったものの、欧州債務問題や中国経済の成長鈍化等の影響もあり、底堅さは堅持しつつ力強さに欠ける展開となりました。

このような状況下、当第３四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高5,377百万円（前年同期比3.4％減）、営業利益181百万円（前年同期比29.0％減）、経常利益116百万円（前年同期比32.3％減）、四半期純損失325百万円（前年同期は四半期純利益73百万円）となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、オンライン経由書籍販売が引き続き好調に推移し、当第３四半期会計期間において新刊刊行が予定どおり推移しオンライン広告収入が増加したものの、取次向け売上の減少が続いた結果、売上高は2,234百万円（前年同期比1.6％減）、セグメント利益（営業利益）313百万円（前年同期比14.0％減）となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、外資系クライアントからの引き合いが底堅く推移し、売上高は623百万円（前年同期比1.0％減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、継続的な原価管理強化により95百万円（前年同期比93.1％増）と大幅増益になりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、スマートフォン及びソーシャルゲーム関連の開発受注が好調に推移したものの、スマートフォンコンテンツなどへの積極的な先行投資を継続した影響により、売上高は745百万円（前年同期比12.6％減）、セグメント損失（営業損失）は53百万円（前年同期はセグメント利益85百万円）となりました。

インターネットカフェ事業におきましては、黒字化の実現に向け抜本的なリストラを実施し複数店舗を閉店したことなどの影響により売上高は1,070百万円（前年同期比6.7％減）となりましたが損益面では、リストラの成果により当第３四半期会計期間より黒字体質が定着しつつあり、セグメント損失（営業損失）16百万円（前年同期比損失７百万円減）と改善傾向にあります。

教育・人材事業におきましては、比較的利益率の高い法人向けサーバ売上やクラウドサービス売上の積上げ及び研修事業収入が増加した結果、売上高659百万円（前年同期比1.8％増）となりました。損益面では、売上増加及び事業拠点統合による固定経費削減策などにより、セグメント損失（営業損失）１百万円（前年同期比損失25百万円減）と大幅改善いたしました。

その他の事業（注）におきましては、売上高43百万円（前年同期比146.4％増）、セグメント利益（営業利益）26百万円（前年同期はセグメント損失６百万円）となりました。

（注）　当第３四半期累計期間及び前第３四半期累計期間における「その他の事業」には、有価証券投資事業の業績を含んでおります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、のれん188百万円減少、建物及び構築物（純額）167百万円減少並びに現金及び預金99百万円減少を主因に、前連結会計年度末比503百万円減の9,670百万円となりました。負債については、買掛金78百万円増加及び有利子負債299百万円減少を主因に、前連結会計年度末比118百万円減の5,904百万円となりました。純資産については、利益剰余金357百万円減少を主因に、前連結会計年度末比385百万円減の3,766百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期通期の連結業績予想は、平成24年10月24日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,888	2,788
受取手形及び売掛金	1,722	1,640
有価証券	20	20
営業投資有価証券	444	530
商品及び製品	986	1,044
仕掛品	82	119
原材料及び貯蔵品	15	16
繰延税金資産	94	78
その他	132	121
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	6,386	6,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,792	1,589
減価償却累計額	△764	△728
建物及び構築物（純額）	1,027	860
土地	1,089	1,089
その他	976	879
減価償却累計額	△890	△795
その他（純額）	86	84
有形固定資産合計	2,204	2,035
無形固定資産		
のれん	424	236
その他	74	51
無形固定資産合計	499	287
投資その他の資産		
投資有価証券	221	196
敷金及び保証金	509	472
繰延税金資産	190	174
その他	169	150
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,083	987
固定資産合計	3,787	3,309
資産合計	10,174	9,670

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	438	517
1年内償還予定の社債	744	754
短期借入金	849	582
未払法人税等	25	46
賞与引当金	48	24
返品調整引当金	172	174
その他	444	512
流動負債合計	2,721	2,612
固定負債		
社債	2,142	2,000
長期借入金	829	928
退職給付引当金	208	224
役員退職慰労引当金	73	73
資産除去債務	30	31
再評価に係る繰延税金負債	8	8
その他	7	24
固定負債合計	3,300	3,291
負債合計	6,022	5,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,406	1,406
資本剰余金	1,902	1,886
利益剰余金	900	542
自己株式	△642	△613
株主資本合計	3,566	3,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9	18
土地再評価差額金	15	15
その他の包括利益累計額合計	5	34
新株予約権	7	5
少数株主持分	572	504
純資産合計	4,151	3,766
負債純資産合計	10,174	9,670

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	5,567	5,377
売上原価	3,679	3,543
売上総利益	1,888	1,833
返品調整引当金繰入額	37	2
差引売上総利益	1,850	1,831
販売費及び一般管理費	1,594	1,650
営業利益	255	181
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	0	0
投資有価証券売却益	10	0
負ののれん償却額	0	0
持分法による投資利益	－	4
その他	6	8
営業外収益合計	20	14
営業外費用		
支払利息	49	39
社債発行費	28	13
持分法による投資損失	1	－
支払保証料	14	15
その他	9	10
営業外費用合計	103	78
経常利益	172	116
特別利益		
固定資産売却益	0	0
持分変動利益	0	－
保険差益	－	8
新株予約権戻入益	－	1
特別利益合計	0	10
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	－	2
店舗撤退損失	－	227
のれん償却額	－	165
プロジェクト整理損失	－	48
特別損失合計	0	445
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	172	△318
法人税、住民税及び事業税	23	47
法人税等調整額	113	27
法人税等合計	137	75
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	35	△393
少数株主損失（△）	△38	△67
四半期純利益又は四半期純損失（△）	73	△325

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	35	△393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△146	28
土地再評価差額金	1	－
その他の包括利益合計	△145	28
四半期包括利益	△110	△365
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71	△297
少数株主に係る四半期包括利益	△38	△67

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	出版	コーポレートサービス	ソフトウェア・ネットワーク	インターネットカフェ	教育・人材	計				
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高	2,270	630	853	1,148	647	5,549	17	5,567	―	5,567
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	30	0	80	―	10	122	―	122	△122	―
計	2,301	630	933	1,148	658	5,672	17	5,690	△122	5,567
セグメント利益又はセグメント損失(△)	364	49	85	△23	△26	449	△6	442	△186	255

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、有価証券投資事業を含んでおります。

２　セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△186百万円には、セグメント間の内部取引又は振替高消去31百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△218百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

３　セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他(注)１	合計	調整額(注)２	四半期連結損益計算書計上額(注)３
	出版	コーポレートサービス	ソフトウェア・ネットワーク	インターネットカフェ	教育・人材	計				
売上高										
(1)外部顧客に対する売上高	2,234	623	745	1,070	659	5,334	43	5,377	―	5,377
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	27	0	80	―	7	116	―	116	△116	―
計	2,261	624	826	1,070	667	5,450	43	5,493	△116	5,377
セグメント利益又はセグメント損失(△)	313	95	△53	△16	△1	337	26	364	△182	181

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、有価証券投資事業を含んでおります。

２　セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△182百万円には、セグメント間の内部取引又は振替高消去32百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△215百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

３　セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

①「インターネットカフェ」セグメントにおいて、複数の不採算店舗を閉鎖・譲渡予定であることから、第２四半期連結会計期間において当該店舗固定資産について減損損失を特別損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては159百万円であります。

②「ソフトウェア・ネットワーク」セグメントにおいて、不採算事業（LED（発光ダイオード）事業会社LuxTek社への投資）の整理の一環として、第２四半期連結会計期間において建設仮勘定の減損損失を特別損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては13百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

「インターネットカフェ」セグメントにおいて、複数の不採算店舗を閉鎖・譲渡予定であることから、第２四半期連結会計期間において店舗撤退損失（上記減損損失159百万円を含む。）227百万円を特別損失として計上した結果、同事業を営む連結子会社に対するのれんの効果が消滅したため、のれん償却を特別損失として計上しております。なお、当該のれん償却計上額は、当第３四半期連結累計期間においては165百万円であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更による、当第３四半期連結累計期間の各セグメント利益に及ぼす影響額は軽微であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。